

高齢者意識調査 調査報告書

2024年5月
一般財団法人 日本老人福祉財団

目次

I.	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	1
4.	調査時期	1
5.	回収数（有効回答数）	1
II.	調査結果	2
1.	サマリー	2
2.	回答者属性	3
①	居住地（都市区分）	3
②	居住地（地方区分）	3
③	年齢	4
④	性別	4
3.	家族構成	5
①	配偶者の有無	5
②	子供の人数	5
③	同居家族の人数	6
4.	就業・経済面の状況	7
①	就業の有無	7
②	経済的な独立	7
5.	住宅の状況	8
①	住宅の種類	8
②	住宅の広さ	8
6.	生活に関する意識	9
①	健康状態	9
②	近隣との交流	9
③	老後への経済的準備	10
④	将来の家計不安	10
⑤	子供への経済的依存意識	11
⑥	子供との同居意識	11
⑦	寝たきり時の看護方法	12
⑧	寂しさ	12
⑨	退屈感	13
⑩	将来の健康不安	13

7.	需要調査.....	14
①	入居時自立型の有料老人ホームへの興味.....	14
②	入居金（1人約3,500万円、2人約5,000万円）についての価格感.....	14
③	入居金の分割払い意向.....	15
④	入居を検討する可能性がある知人.....	15
⑤	入居を希望する施設の種類.....	17
⑥	和室と洋室に関する意向.....	17
⑦	居室の常住性意向.....	18
⑧	趣味.....	19
Ⅲ.	高齢者意識調査 調査項目.....	20

I. 調査概要

1. 調査目的

- ・ この調査は、有料老人ホームに関心を持つ高齢者を対象として、高齢期の暮らし等に関する意識を把握することを目的とする。
- ・ 加えて、この調査は、50年前の1974年9月～12月に実施された、アンケート調査と同じ質問項目を用いて、その間の高齢者（有料老人ホームに関心を持つ高齢者）の意識の変化を把握することを目的とする。*1974年調査の概要は、ページ下の表の通り。

2. 調査対象

- ・ 雑誌「しあわせの時間」¹の購読者 7053名

3. 調査方法

- ・ 雑誌「しあわせの時間」の巻末にWEBアンケート調査用QRコードを掲載し、WEBアンケート調査を実施。

4. 調査時期

- ・ 2024年1月-2月

5. 回収数（有効回答数）

- ・ 回収は143票であった。雑誌「しあわせの時間」の購読者数は、7053名なので回収率は20.2%である。
- ・ 以降、「今回」の調査結果の母数は、143。6.生活に関する意識の「⑤子供への経済的依存意識」、「⑥子供との同居意識」については、子供がいる方のみを母数としている為、母数は77。

*1974年調査の概要

A) 調査対象

- ・ 1974年9月に財団が発行した雑誌「ゆうゆう」創刊号を購読した11,111名

B) 調査方法

- ・ 雑誌「ゆうゆう」²創刊号にアンケート票を添えて購読者に配布。返信用はがきの回答欄に回答を記入し財団宛に返信を依頼。

C) 調査時期

- ・ 1974年9月10日～12月31日

D) 回収数（有効回答数）

- ・ 1,776票

¹ シニアの方に関心が高いテーマを「特集」として掲載。入居者の〈ゆうゆうの里〉へ入居を決めたきっかけや生活など生の声も掲載している季刊誌。

² わが国で初めて高齢者のための本格的雑誌。老後を考え老後を生きるあらゆる人々の情報の場として創刊された季刊誌。

II. 調査結果

1. サマリー

今回の調査は、私たちの発行する雑誌「しあわせの時間」の購読者を対象であり、世間一般の高齢者の姿を捉えようとしたものではない。我々の運営している介護付き有料老人ホーム、なかでも入居時自立型のホームに何らかの興味をもっている高齢者層を対象としたものである。

その意味では、我々のような自立型の介護付き有料老人ホームを検討する高齢者がどのような人達であるのかを把握することが目的と言える。

今回は、50年前の調査と比較することによって、介護付き有料老人ホームに関心を示す高齢者の方々を取り巻く家族環境や意識に変化があることを確認できた。

まず、子供の人数では、50年前には、「子供が3人以上」の割合が5割を超えていたのに対して、今回の調査では、「子供が3人以上」は1割にも満たず、反対に、なしが46%と5割近くとなっている。

さらに、同居家族の人数も、50年前は「3人以上で住んでいる」のは55%と過半数であったのに対して、今回調査では、「独居ないし2人住い」が合わせて91%となっており、家族構成に大きな違いが認められる。

住宅の種類も、「一戸建て持家」が前回調査では75%であったものが、今回は57%と依然過半数を占めるが、割合が低くなっており、「分譲マンション」が29%を占めているのが、大きな変化である。

近隣との交流の状況も、50年前は、「隣近所」はもちろん、「それ以外の人々」とも通常親しくつきあっているが48%と半数近くであったのに対し、今回の調査では、その割合は20%にとどまる。代わって、「あいさつを交わす程度」が62%を占め、ほとんど付き合わないの7%と合わせれば、7割に及ぶ。

子供との関係性に関しても違いがみられる。

経済的な依存意識は、50年前には、「当然面倒をみてもらいたい」が12%、「困ったときには面倒をみてもらいたい」が16%であったが、今回の調査では、「当然面倒を見てもらいたい」は0%、「困ったときには面倒を見てもらいたい」も3%にとどまっている。一方で、「一切、子供には経済的な面倒をかけない」が62%と最も高くなっており、経済的に「子供に面倒をかけない」ようにしたい意識を持つ人の割合が高くなっている。

子供との同居についても、50年前の調査では、30%を占めた、「できる限り一緒に住みたい」は、今回は0%であり、反対に66%の人は、「一緒に住みたいとは思わない」と回答している。

また寝たきりになった場合に誰に看護してもらいたいかについても、50年前には、「どうしても家族のものにみてもらいたい」が22%、「やむを得ず家族のものにみてもらう」が19%と合わせて4割強を占めていたが、今回調査では、いずれも0%であり59%の人が、「病院その他の公的医療機関にあずけてもらってよい」としている。

介護付き有料老人ホームに関心を持つ層を対象とした今回の調査においても、この50年間の少子化や、独居や夫婦二人世帯の増加は明確にその影響をみることができる。

介護付き有料老人ホームに関心を持つ層は、一定の経済力を持っている可能性が高く、当然の帰結かもしれないが、子供たちには経済面、介護面ともに面倒をかけずに、自立生活を続けたい意向が強いことが分かる。これは、この50年間の間に、高齢期の自立支援を支える介護保険制度の開始や、様々な高齢者向け住宅の増加などによって、高齢期の暮らし方の選択肢が増えたことも影響していると思われる。

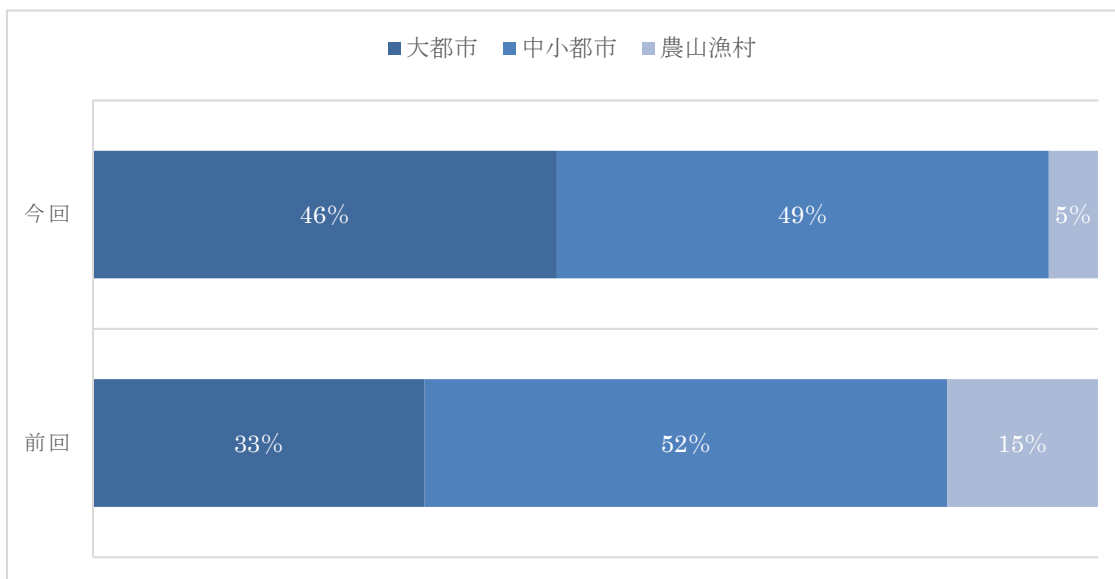
また、近所付き合いの希薄化も調査結果から認められた。50年前には残っていた濃密な近所付き合いや地域コミュニティとのかかわりは、都市部に住む今回の回答者にとっては、縁遠いものになっている印象を受けた。

今回の調査は、回収数が143票と少なく、詳細な分析は難しい面があるが、今後機会があれば、少しサンプル数を増やした調査を実施したいと考えている。

2. 回答者属性

① 居住地（都市区分）

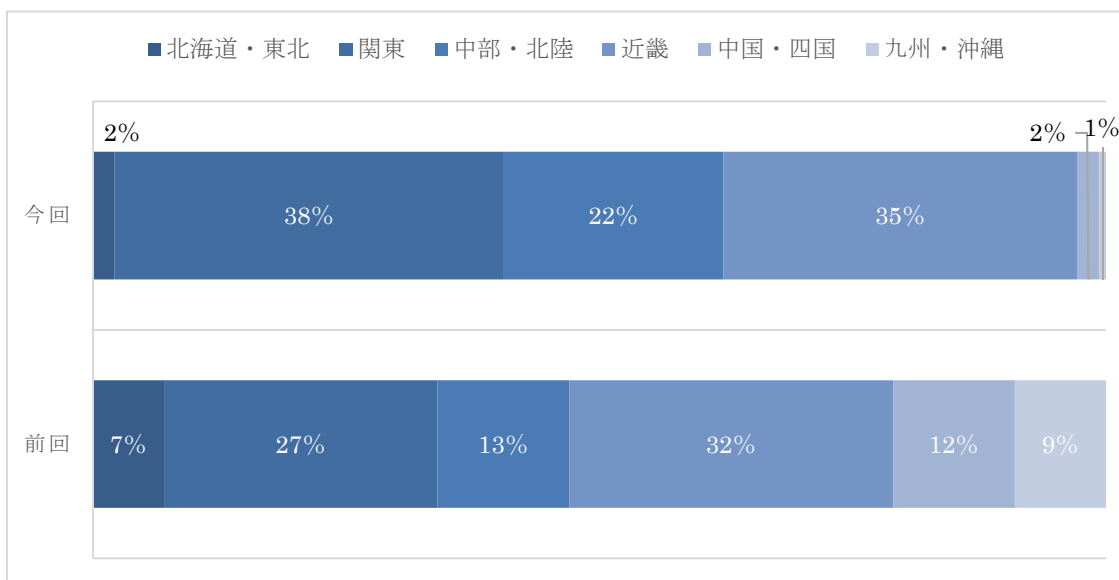
回答者の居住地（都市区分）は、「中小都市」が49%、「大都市」が46%を占めている。前回調査と比較すると、「農山漁村」の割合が低く、「大都市」の割合が高くなっている。



② 居住地（地方区分）

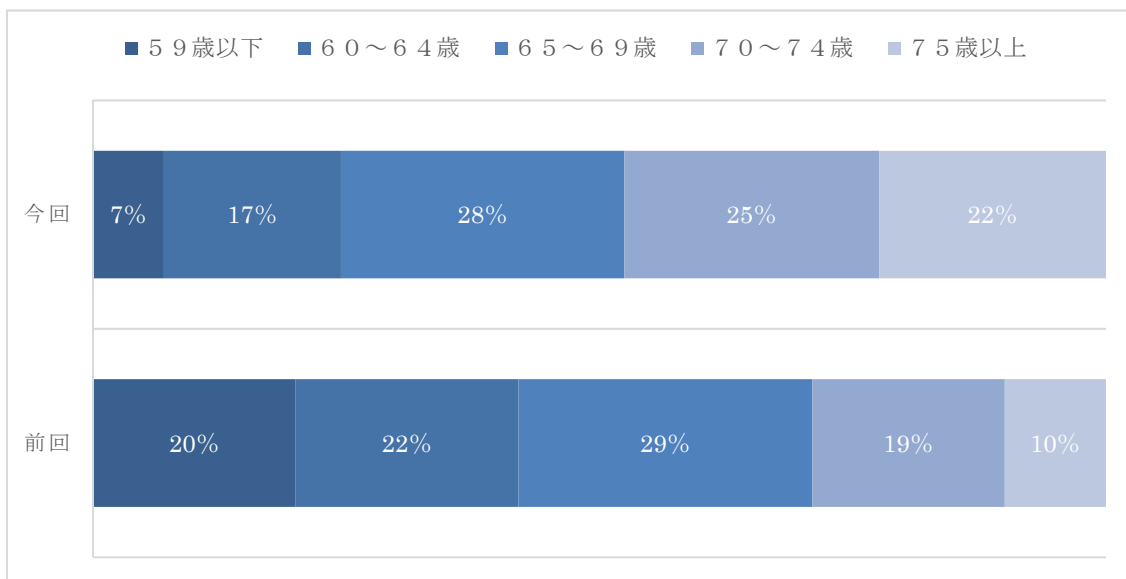
回答者の居住地(地方区分)は、「関東」38%、「近畿」35%、「中部・北陸」22%となっている。

前回調査と比較すると、三大都市圏を含む「関東」、「近畿」、「中部・北陸」の割合が高く、「北海道・東北」、「中国・四国」、「九州・沖縄」の割合が低くなっている。



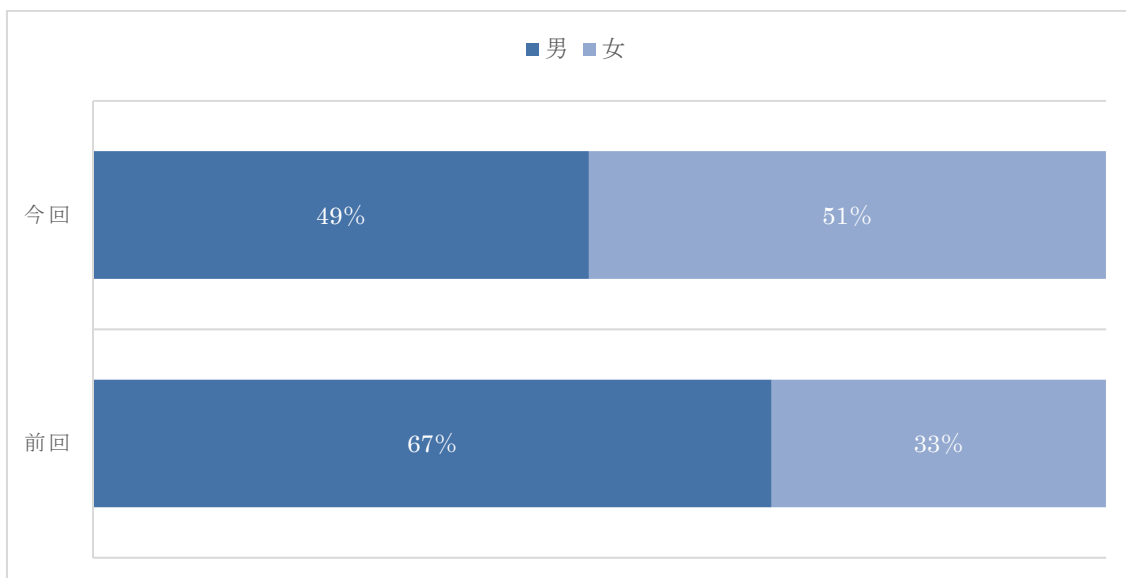
③ 年齢

回答者の年齢は、「65～69歳」が28%、「70～74歳」が25%、「75歳以上」が23%となっている。前回調査と比較すると、「70～74歳」と「75歳以上」の割合が高く、「60～64歳」、「59歳以下」の割合が低くなっている。



④ 性別

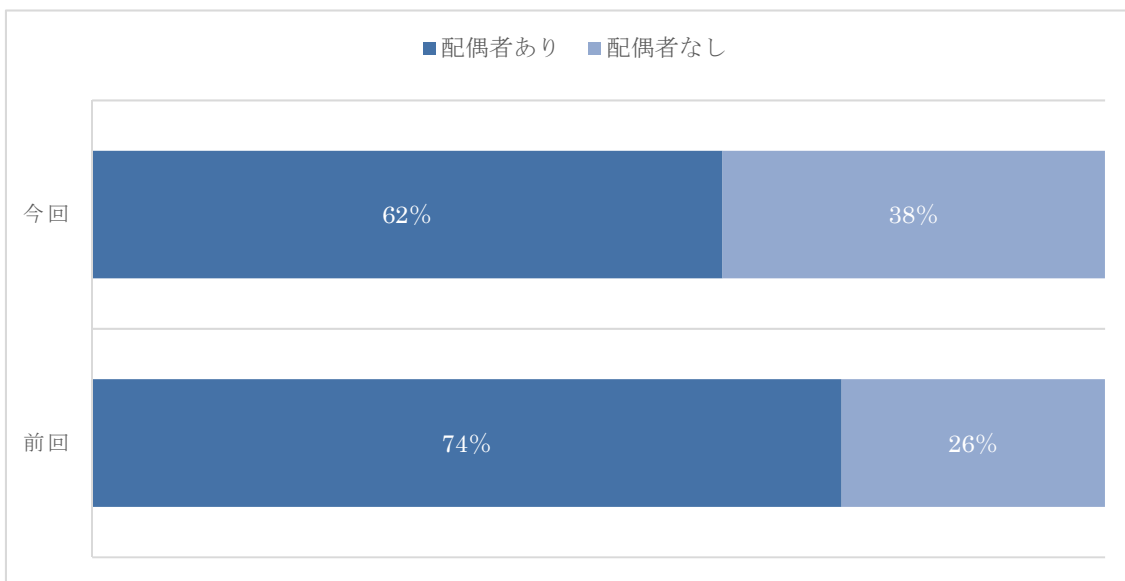
回答者の性別は、「男性」49%、「女性」51%であり、ほぼ同じ割合となっている。前回調査と比較すると、「女性」の割合が高く、「男性」の割合が低くなっている。



3. 家族構成

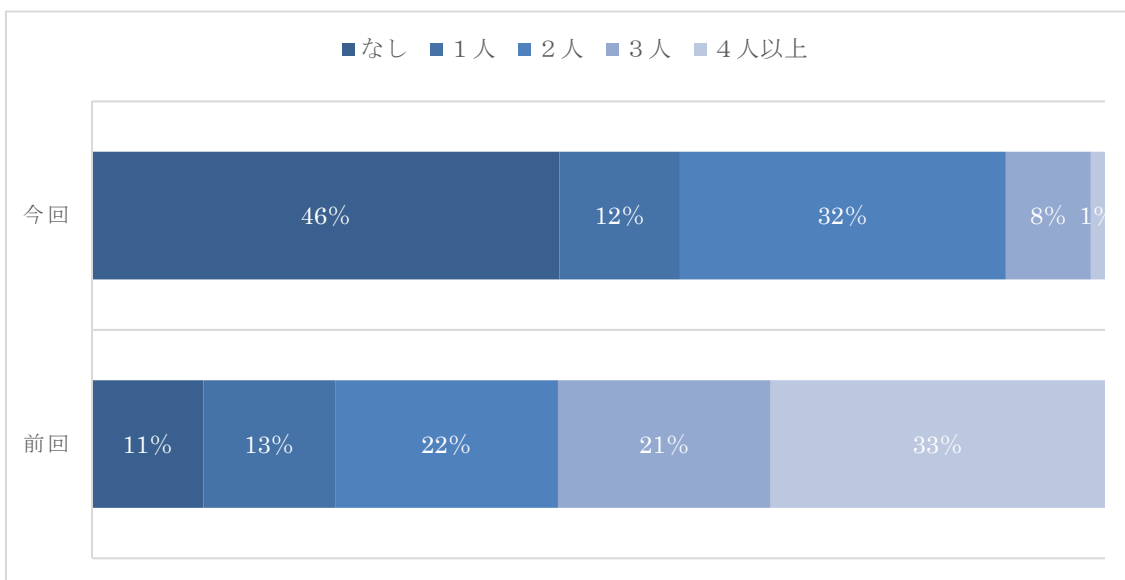
① 配偶者の有無

配偶者の有無をみると、「配偶者あり」が62%、「配偶者なし」が38%となっている。前回調査と比較すると、「配偶者あり」の割合が低く、「配偶者なし」の割合が高い。



② 子供の人数

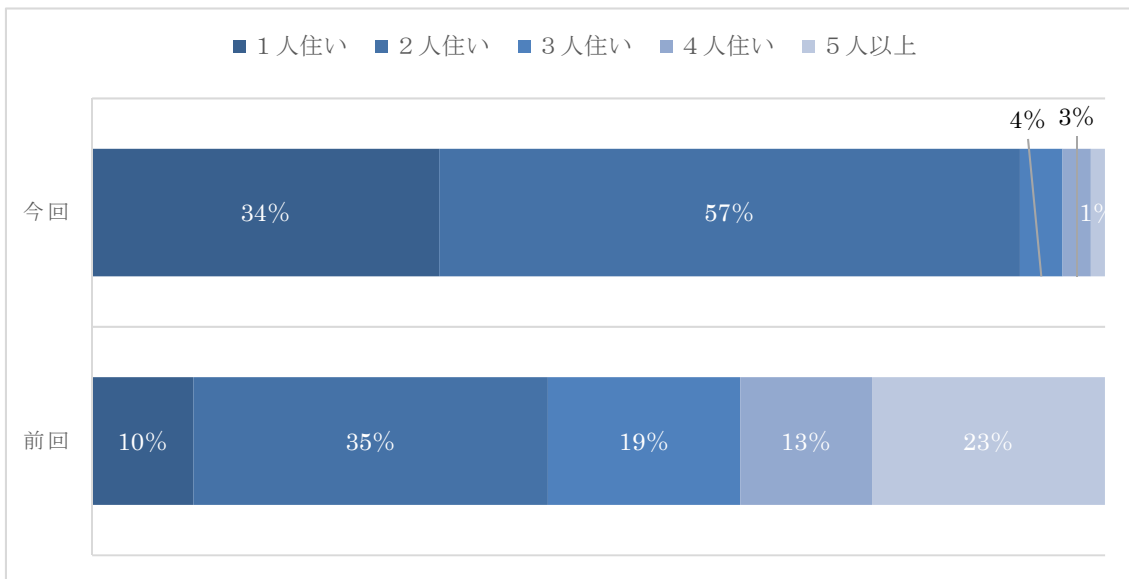
子供の人数は、「なし」が46%を占め、「1人」と合わせて5割を超え、「2人」までで9割を超える。前回調査と比較すると、前回調査では、「4人以上」が最も割合が高く、33%、「3人」が21%で3人以上が5割を超えており、今回と大きく割合が異なっている。



③ 同居家族の人数

同居家族の人数は、「2人住い」57%、「1人住い」34%、であり独居か2人であるわりあい9割を占める。

前回調査と比較すると、今回は「5人以上」が23%、「4人住い」13%、「3人住い」19%と3人以上同居家族がいる割合が5割を超えていたのとは大きく異なっている。

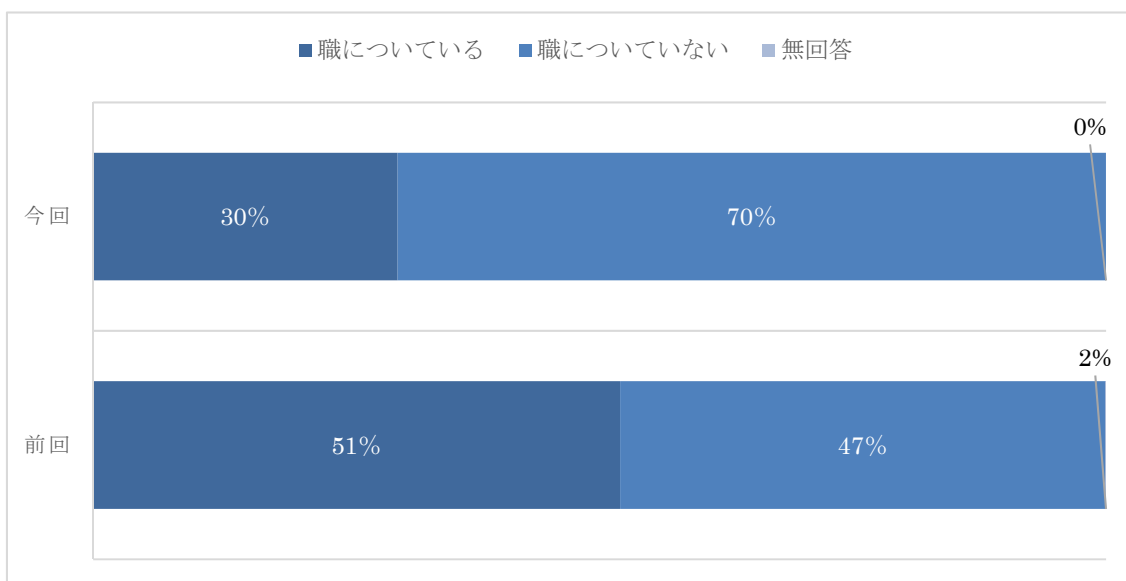


4. 就業・経済面の状況

① 就業の有無

就業の有無は、就業しているのは、3割で、7割が就業していない。

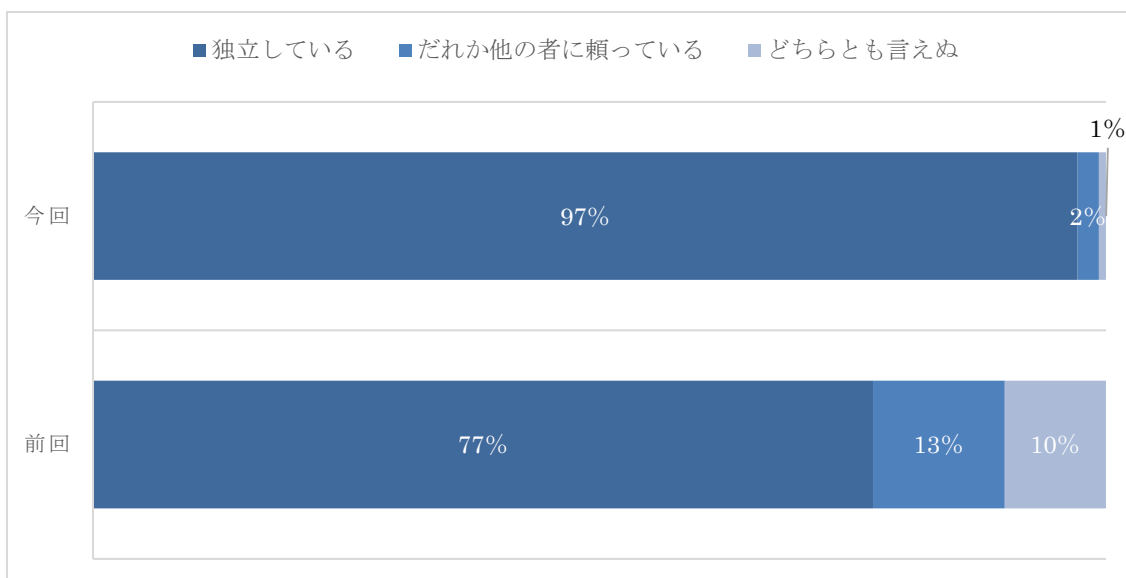
前回調査と比較すると、就業している割合が51%と過半数となっていた。



② 経済的な独立

経済的な独立の状況は、97%が「独立している」と回答している。

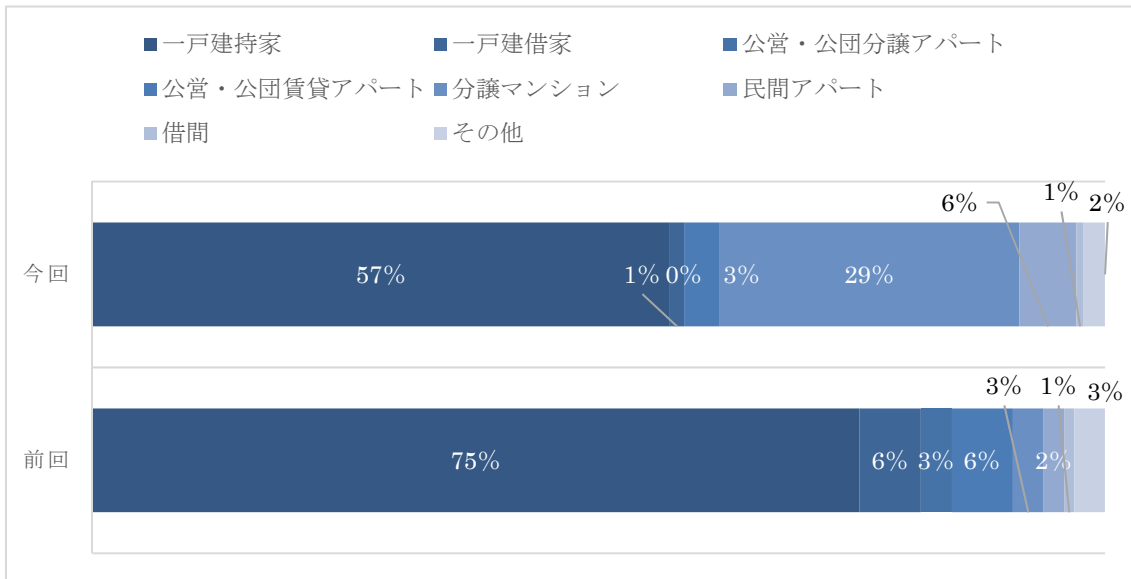
前回調査では、「だれか他の人に頼っている」が13%、「どちらとも言えぬ」が10%であり、今回調査では、「独立している」と回答する割合が高くなっている。



5. 住宅の状況

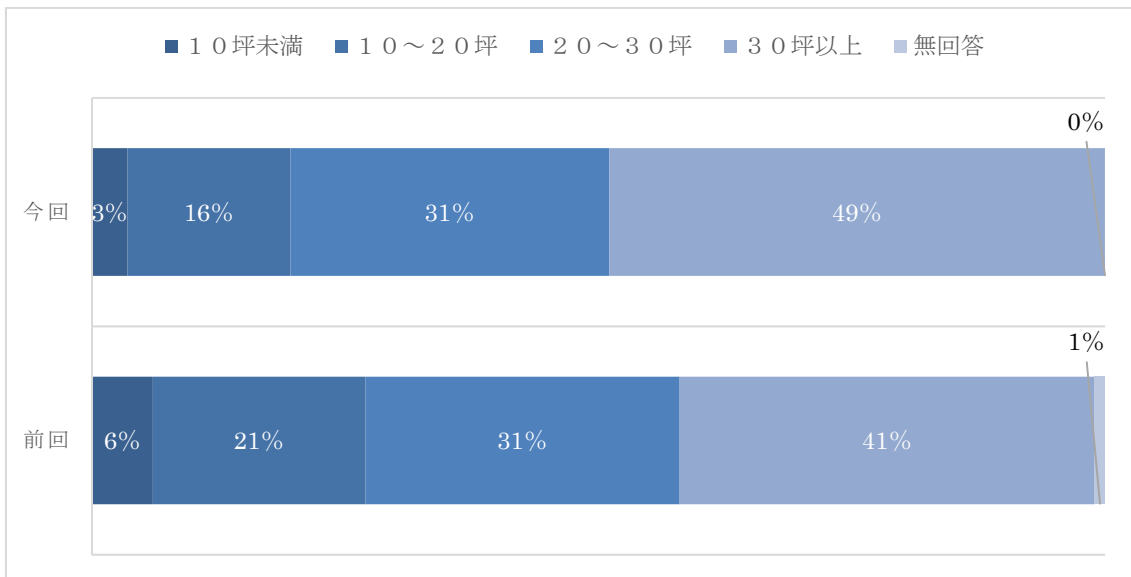
① 住宅の種類

住宅の種類は、「一戸建持家」が57%、次いで「分譲マンション」29%となっている。
 前回調査と比較すると、「一戸建持家」の割合が低く、「分譲マンション」の割合が高くなっている。



② 住宅の広さ

住宅の種類は、「30坪以上」が49%とほぼ半数を占めている。
 前回調査と比較すると、「10坪未満」や「10～20坪」の割合が低く「30坪以上」の割合が高くなっている。

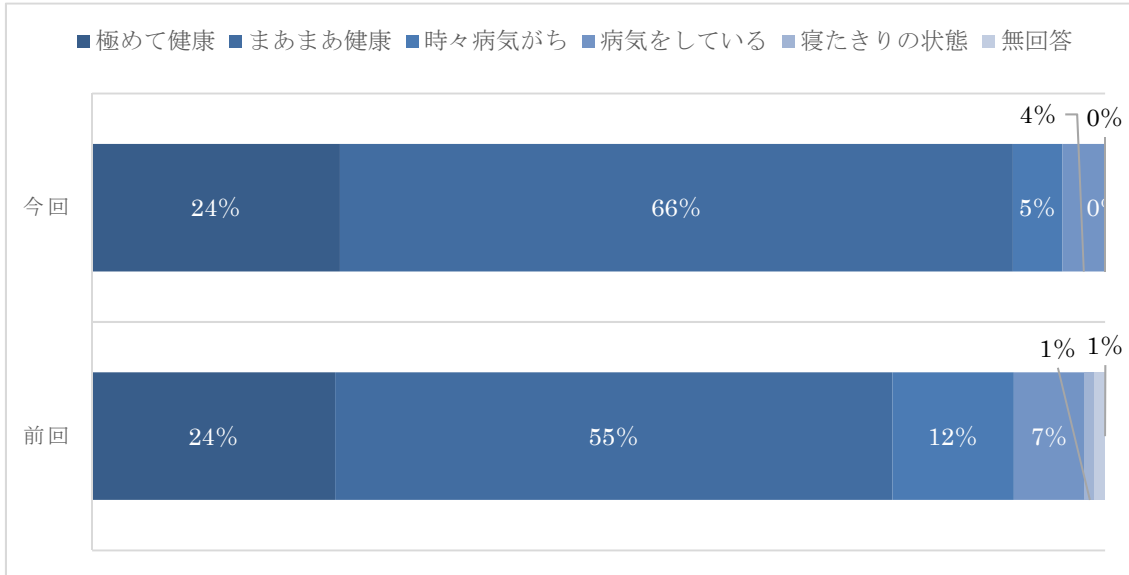


6. 生活に関する意識

① 健康状態

健康状態については、「極めて健康」24%、「まあまあ健康」66%で、概ね健康と感じている人の割合は9割となっている。

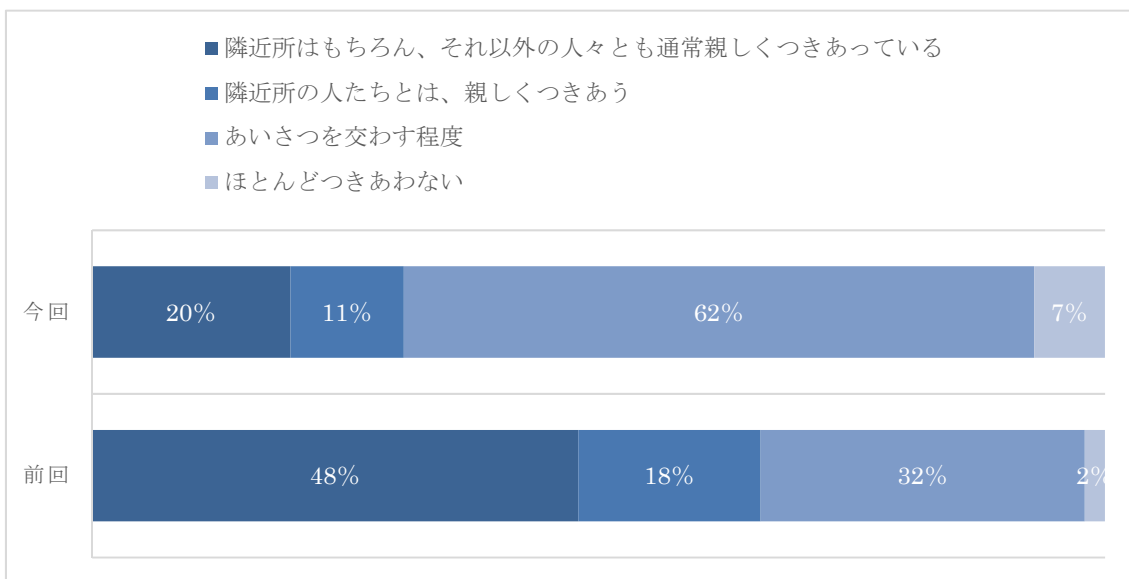
前回調査と比較すると、今回は「時々病気がち」12%と、今回よりも、病気がちである人の割合が少し高い。



② 近隣との交流

近隣との交流については、「あいさつを交わす程度」が62%、「ほとんど付き合わない」7%と合わせると約7割は近隣との交流は希薄な状況となっている。

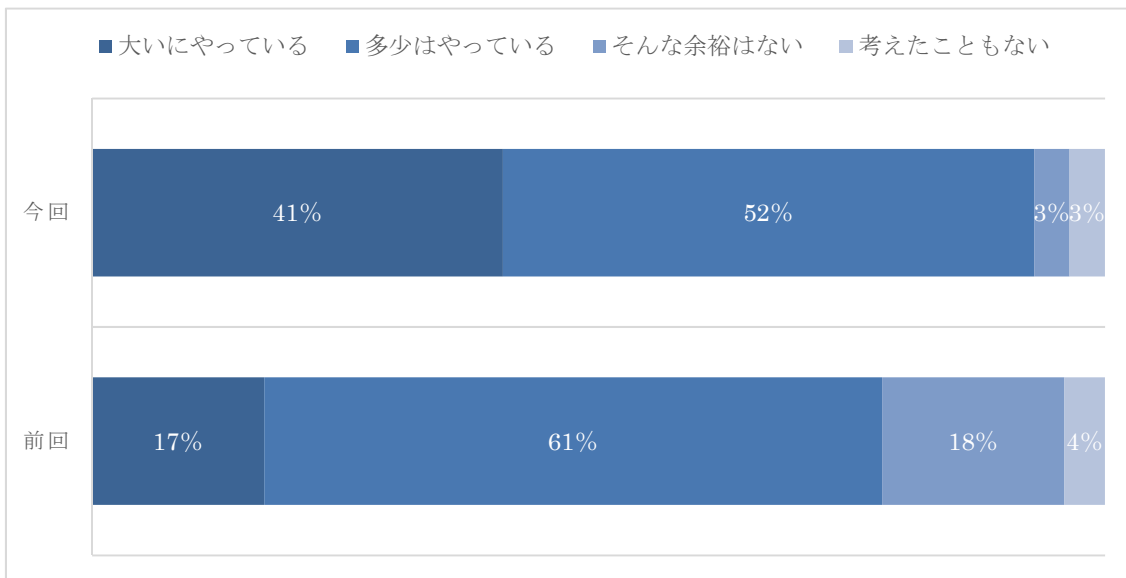
前回調査においては、「隣近所はもちろんそれ以外の人々とも通常親しくつきあっている」が48%、「隣近所の人たちとは親しくつきあう」が18%で、合わせて66%の割合を占めていたのとは大きく異なっている。



③ 老後への経済的準備

老後への経済的準備については、「大いにやっている」41%「多少はやっている」52%である。自立型の有料老人ホームに関心を持っている層であることもあり、一定の準備をしている人が大多数である。

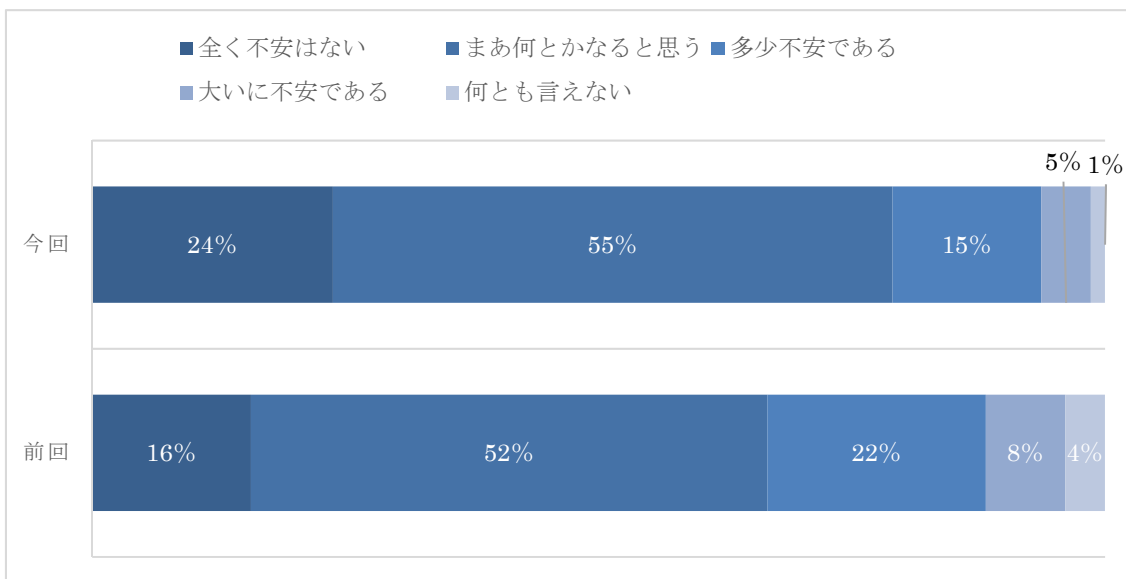
前回調査においては、「そんな余裕はない」が18%あり、一定の準備をしている層の割合が今回よりも低い。



④ 将来の家計不安

将来の家計不安については、「まあ何とかかなると思う」が55%と最も割合が高く、次いで「全く不安はない」が24%となっている。

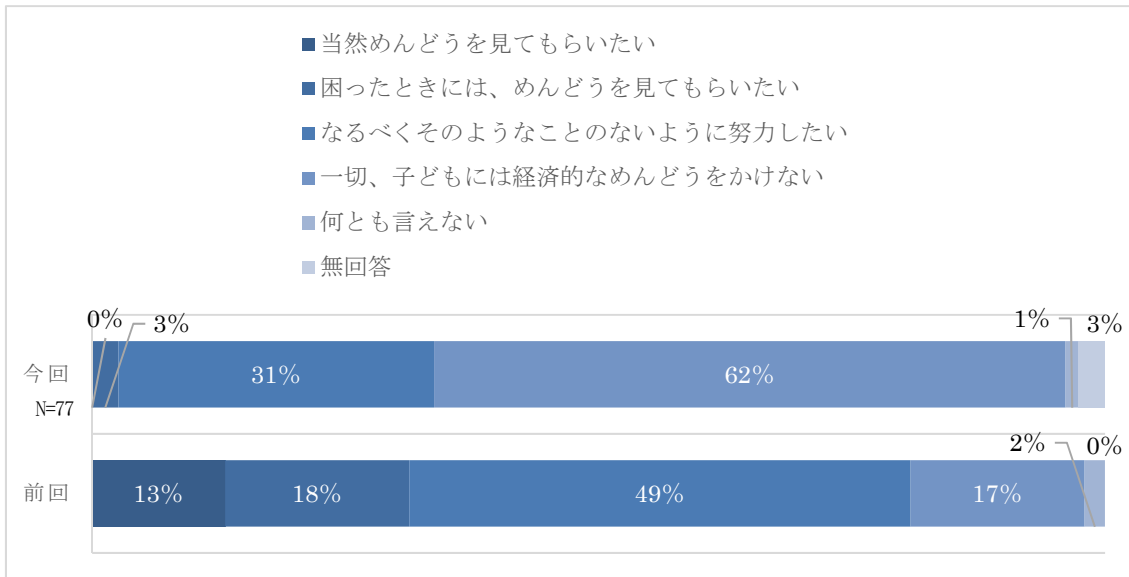
前回調査では、「全く不安はない」が16%と今回よりも割合が低く、「多少不安である」が22%と今回よりも割合が高くなっている。



⑤ 子供への経済的依存意識

「一切子どもには経済的な面倒をかけない」が62%と過半数を占め、「なるべくそのようなことの無いように努力したい」が31%となっており、「当然面倒を見てもらいたい」は0%となっている。子供に経済的な負担をかけないようにしたいという人が大多数となっている。

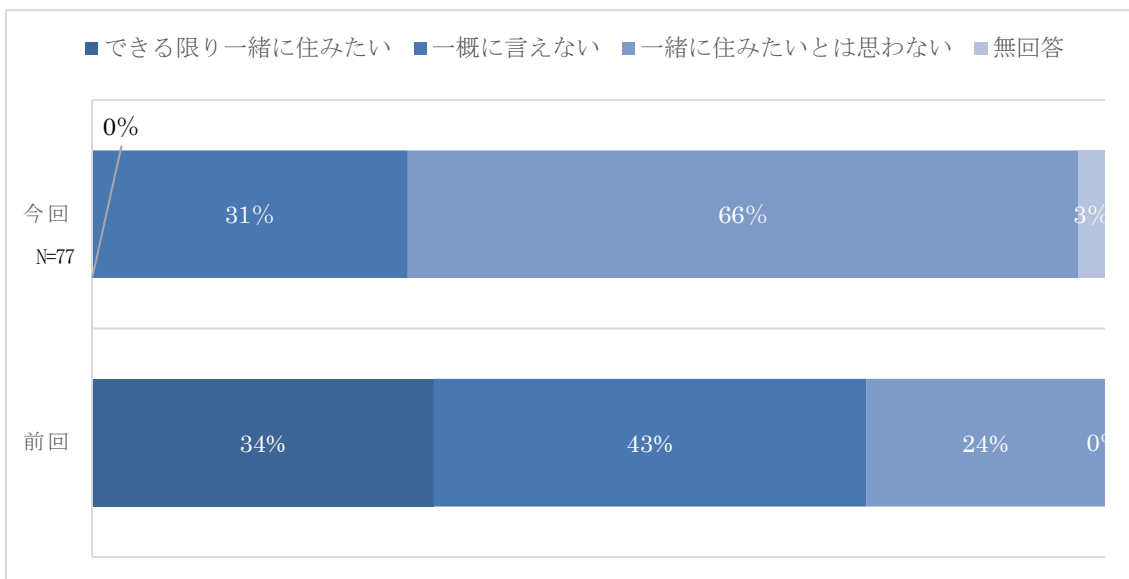
前回調査においては、「一切子どもには経済的な面倒をかけない」は17%と今回よりも割合が低く、「当然面倒を見てもらいたい」は13%、「困ったときには面倒を見てもらいたい」が18%と一定の割合をしめていた。



⑥ 子供との同居意識

「一緒に住みたいとは思わない」が66%、と全体の3分の2を占める一方「できる限り一緒に住みたい」は0%となっている。

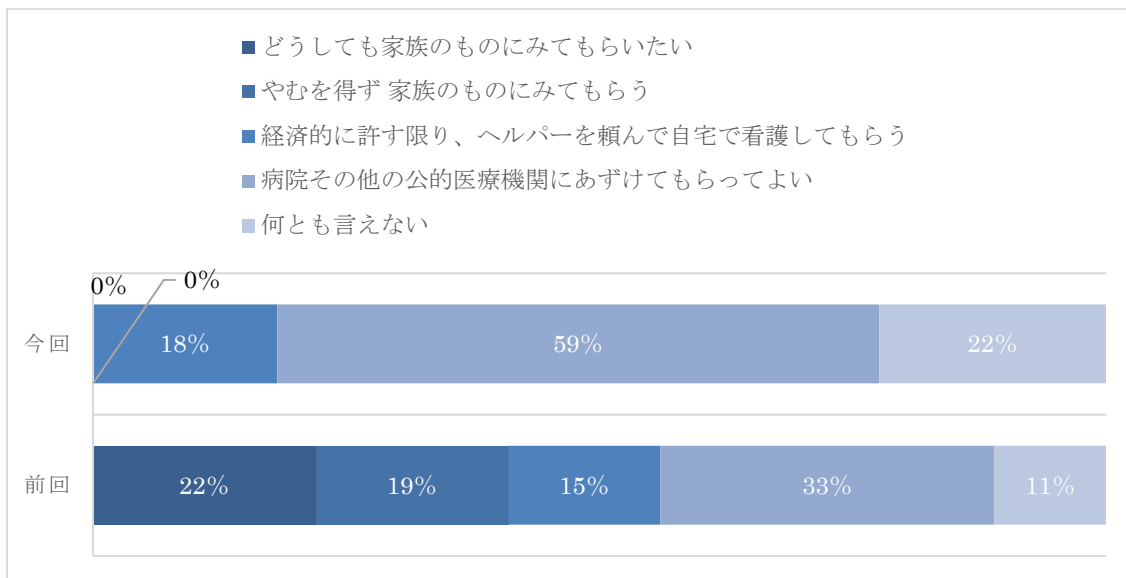
前回調査では、「できる限り一緒に住みたい」が34%であったのとは大きな違いがある。



⑦ 寝たきり時の看護方法

寝たきりになった場合の看護の方法について、「どうしても家族のものにみてもらいたい」、「やむを得ず家族のものにみてもらう」は、いずれも0%であり、「病院その他の公的医療機関に預けてもらってよい」が59%と約6割となった。

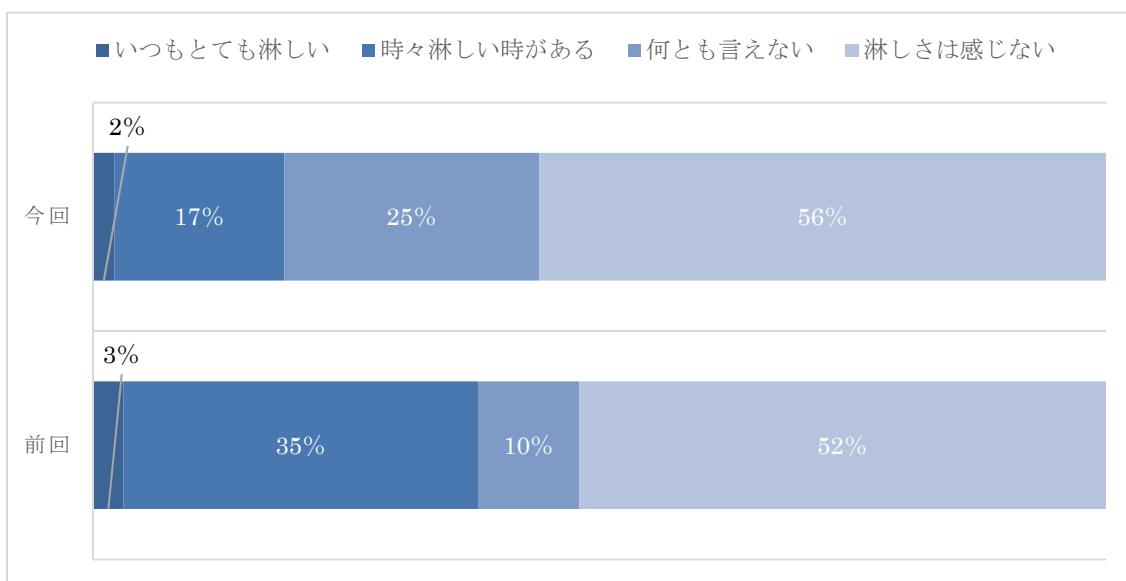
前回調査では、「病院その他の公的医療機関に預けてもらってよい」は、33%で、「どうしても家族のものにみてもらいたい」が22%、「やむを得ず家族のものにみてもらう」が19%であったのとは、割合に大きな差がある。



⑧ 寂しさ

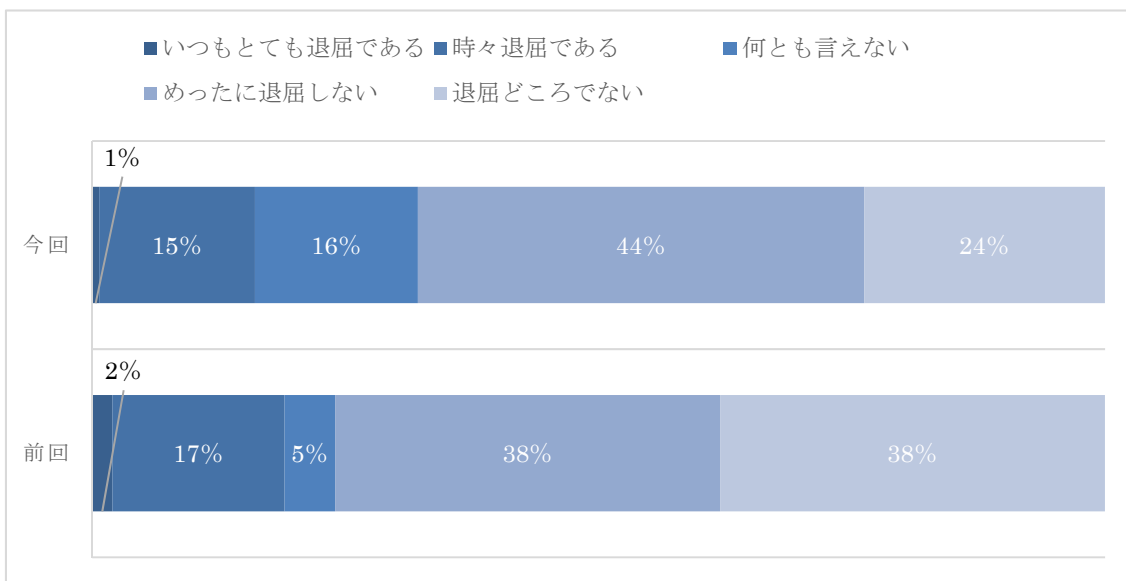
寂しさについては、「寂しさは感じない」が56%で過半数を占め、「時々寂しい時がある」が17%、「いつもとても寂しい」が2%となっている。

前回調査でも、「寂しさは感じない」は52%で過半数を占めるが、「時々寂しい時がある」が35%と今回と比べて割合が高くなっている。



⑨ 退屈感

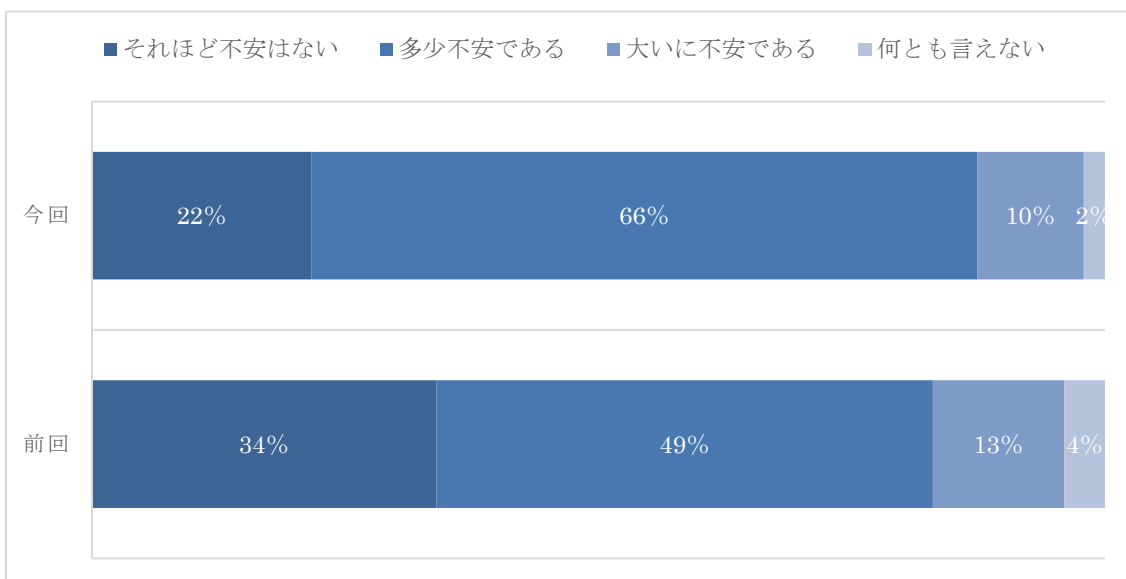
退屈感については、「めったに退屈しない」が44%、「退屈どころではない」が24%と合わせて68%をしえている。前回調査と比較すると、前は「退屈どころではない」が38%であったのに対して、今回は24%と割合が低くなっている。



⑩ 将来の健康不安

将来の健康不安については、「多少不安である」が66%と3分の2を占める。「大いに不安である」は10%で合わせると76%の人が、なんらかの不安を感じている。一方、「それほど不安はない」は22%となっている。

前回調査と比較すると、「それほど不安はない」は、前回34%であったのに対して、今回は22%と割合が低くなっており、今回の方が、不安を感じている割合が高い。

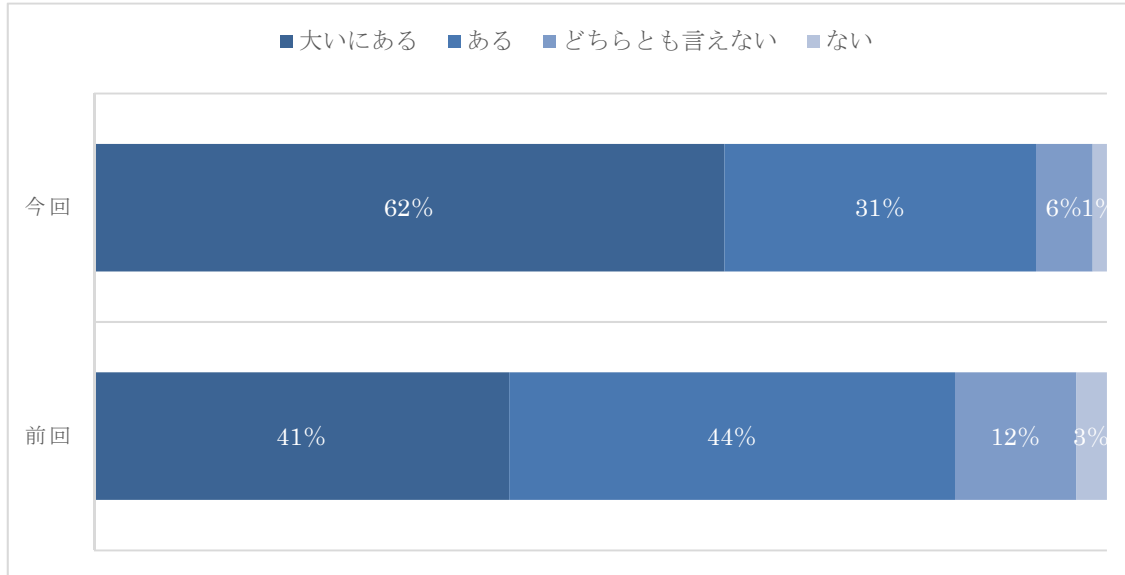


7. 需要調査

① 入居時自立型の有料老人ホームへの興味

入居時自立型有料老人ホームへの興味については、「大いにある」が62%と6割であった。「ある」は31%をあわせると93%の人が、入居時自立型の有料老人ホームに興味があった。

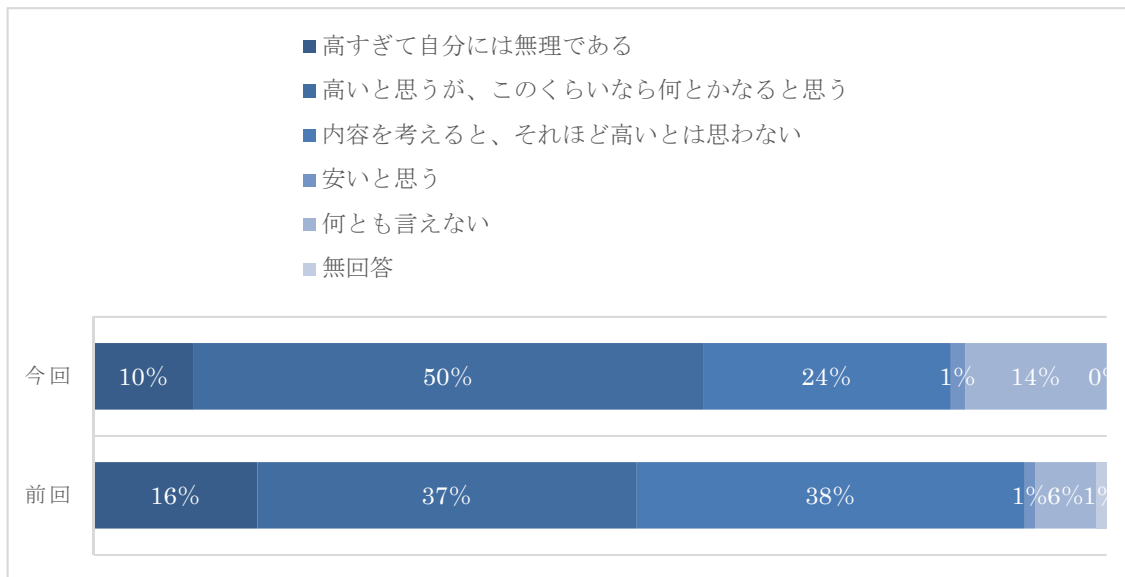
前回調査と比較すると、「大いにある」が前回41%であったのに対して、今回は62%と割合が高くなっており、今回の方が入居時自立型の有料老人ホームに興味がある割合が高い。



② 入居金（1人約3,500万円、2人約5,000万円）についての価格感

入居金についての価格感については、「高いと思うが、このくらいなら何とかかなと思う」が50%と過半数を占めた。次いで「内容を考えると、それほど高いとは思わない」が24%となった。

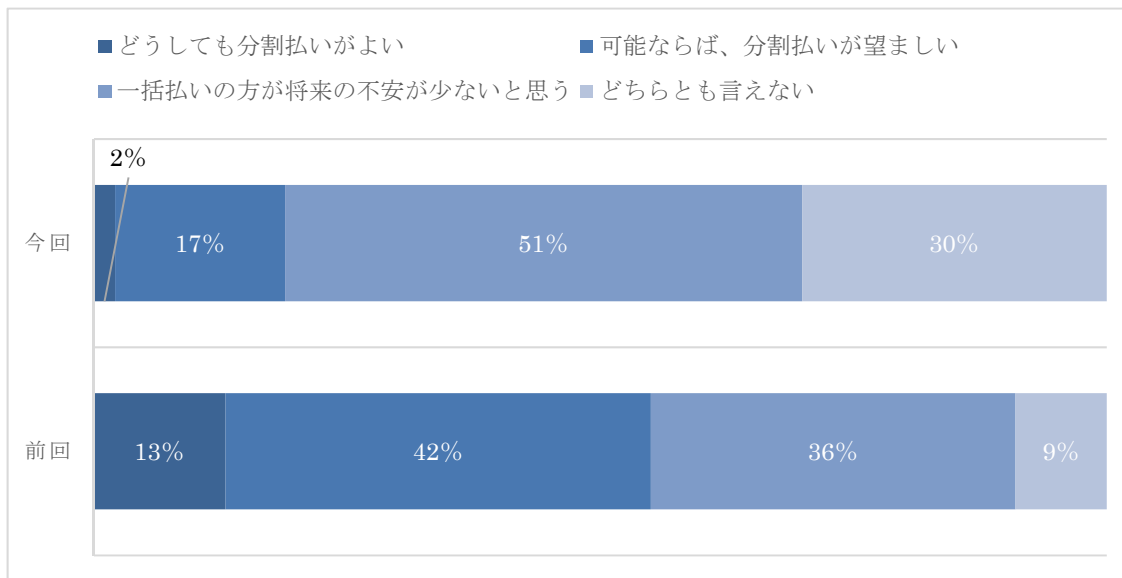
前回調査は、1人30.57㎡～50.4㎡ 760～1,020万円、2人30.57㎡～50.4㎡ 1,150～1,410万円で調査を行った。「内容を考えると、それほど高いとは思わない」が38%と4割弱であった。



③ 入居金の分割払い意向

入居金の分割払い意向については、「一括払いの方が将来の不安が少ないと思う」が51%と過半数を占めた。

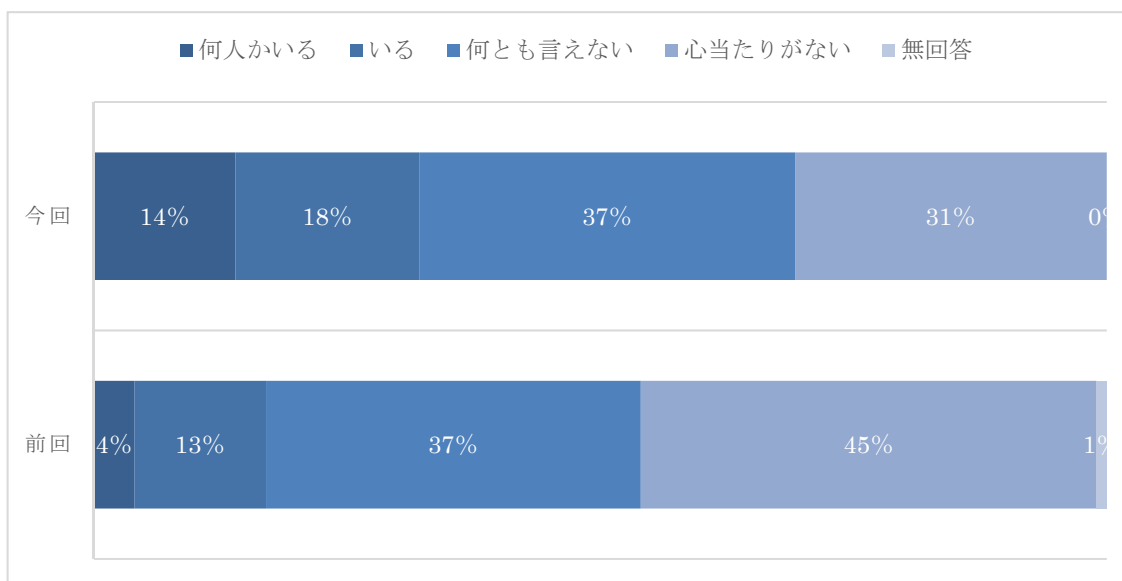
前回調査と比較すると、「一括払いの方が将来の不安が少ないと思う」が前回36%であったのに対して、今回は51%と割合が高くなっている。「可能ならば、分割払いが望ましい」が前回42%であったのに対して、今回は17%と割合が低くなっている。一括払いの方の割合が高くなっている。



④ 入居を検討する可能性がある知人

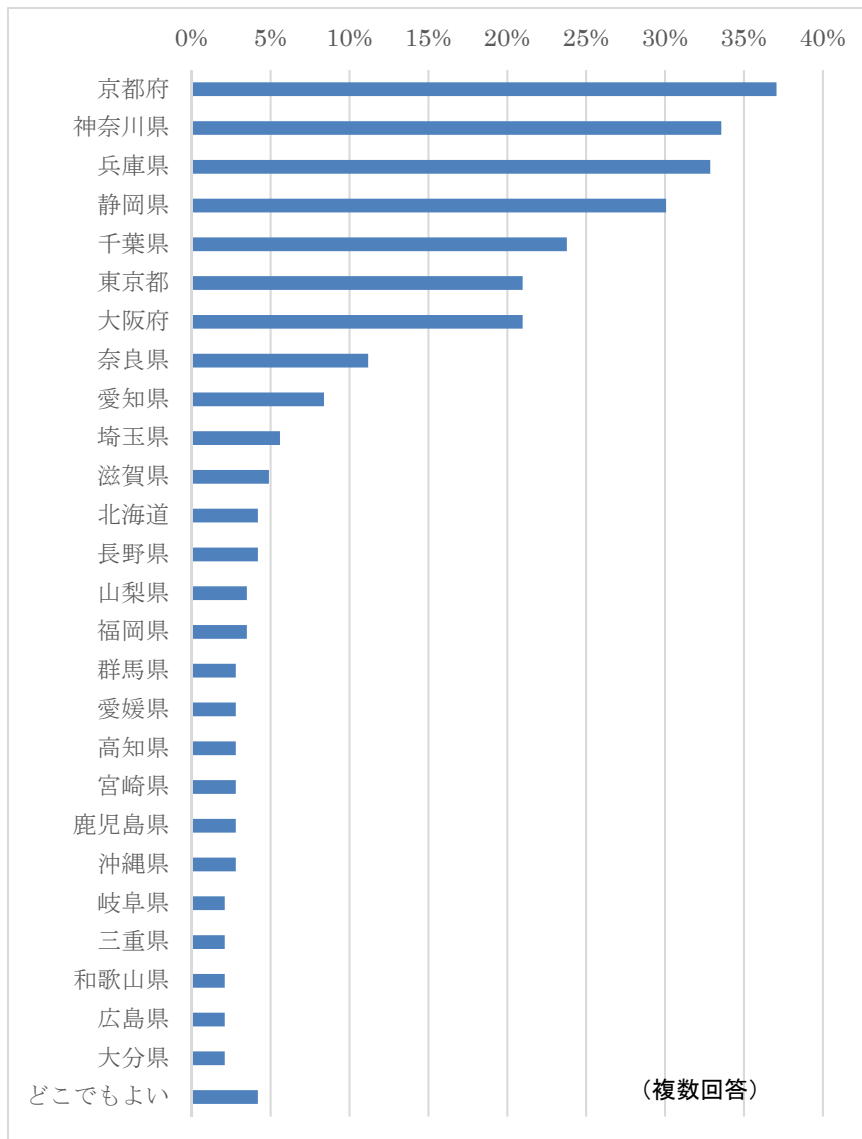
入居を検討する可能性がある知人については、「何人かいる」が14%、「いる」が18%で合わせると32%の人がいるとなった。

前回調査と比較すると、「何人かいる」、「いる」、の合計が前回17%であったのに対して、今回は32%と割合が高くなっている。



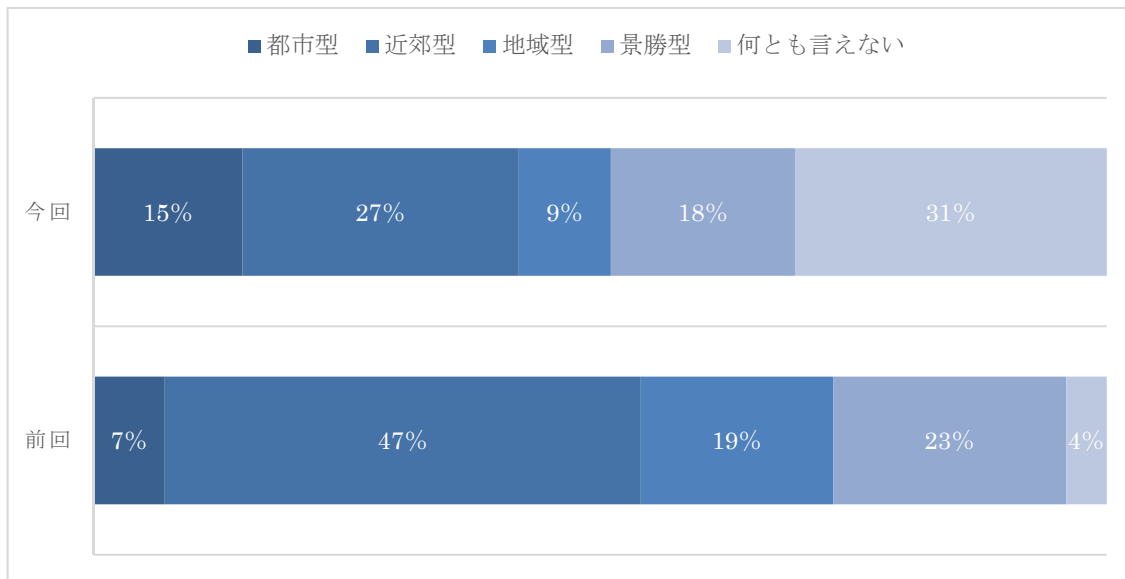
⑤ 入居を希望する地域

入居を希望する地域について複数回答で尋ねた。回答者が〈ゆうゆうの里〉に関心をもっている方が回答している為か、「京都府」、「神奈川県」、「兵庫県」の順となった。〈ゆうゆうの里〉が所在していない都道府県で見ると、「東京都」、「奈良県」、「愛知県」の順となった。



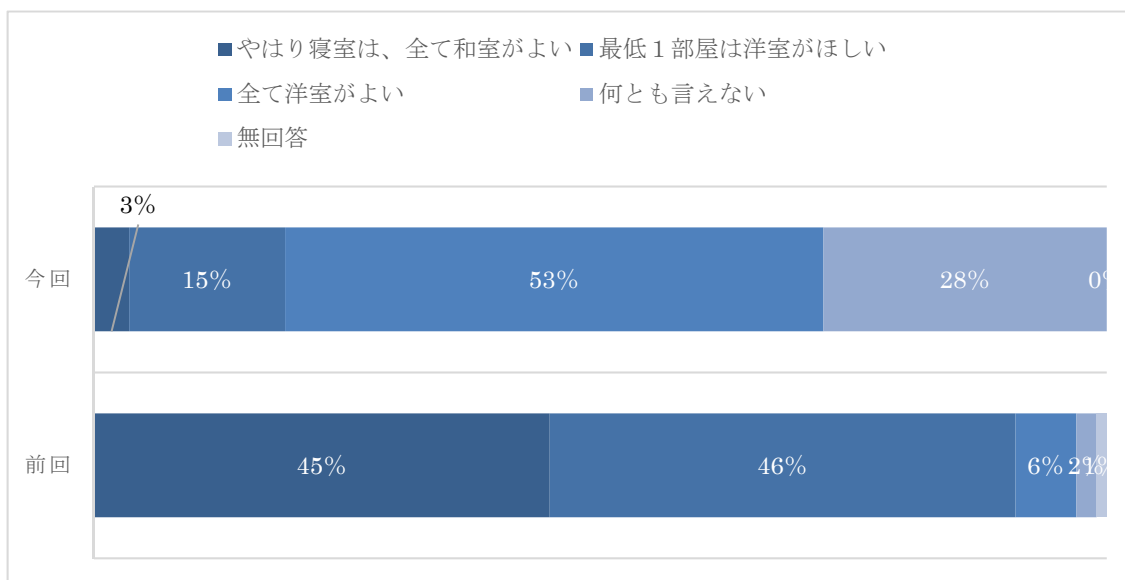
⑥ 入居を希望する施設の種類

入居を希望する施設の種類については、「近郊型」が27%と一番割合が高かった。前回調査と比較すると、「近郊型」は前回47%であったのに対して、今回は27%と割合が低くなっている。「都市型」は、前回7%であったのに対して、今回は15%と割合が高くなっている。



⑦ 和室と洋室に関する意向

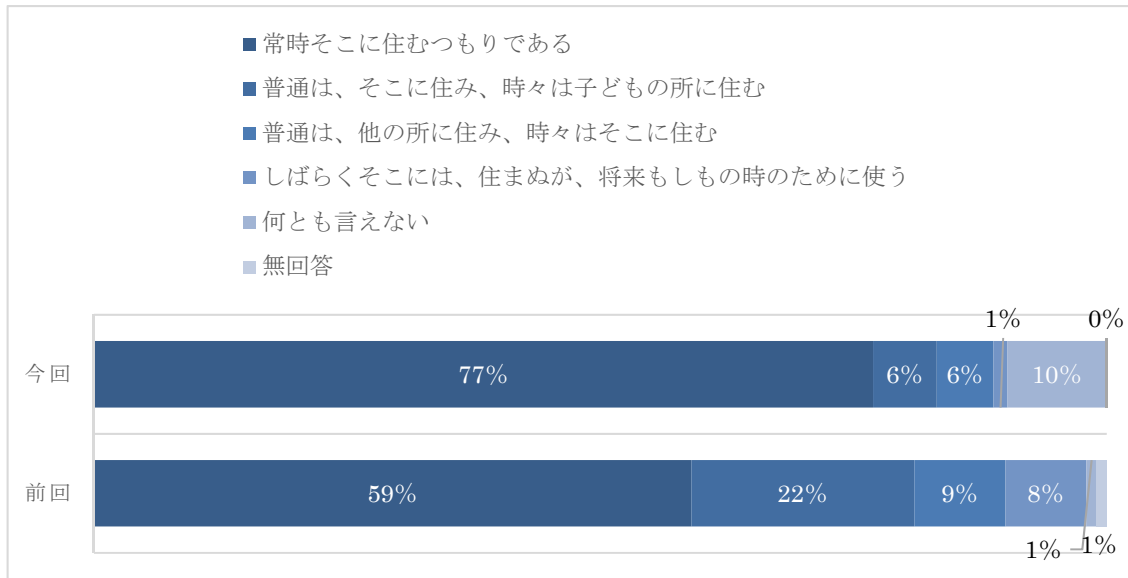
和室と洋室に関する意向については、「全て洋室」がよいが53%と過半数を占めた。前回調査と比較すると「全て洋室がよい」が前回6%であったのに対して、今回は53%と割合が大幅に高くなっている。一方、「やはり寝室は、全て和室がよい」が前回45%であったのに対して、今回は3%と割合が大幅に減っている。



⑧ 居室の常住性意向

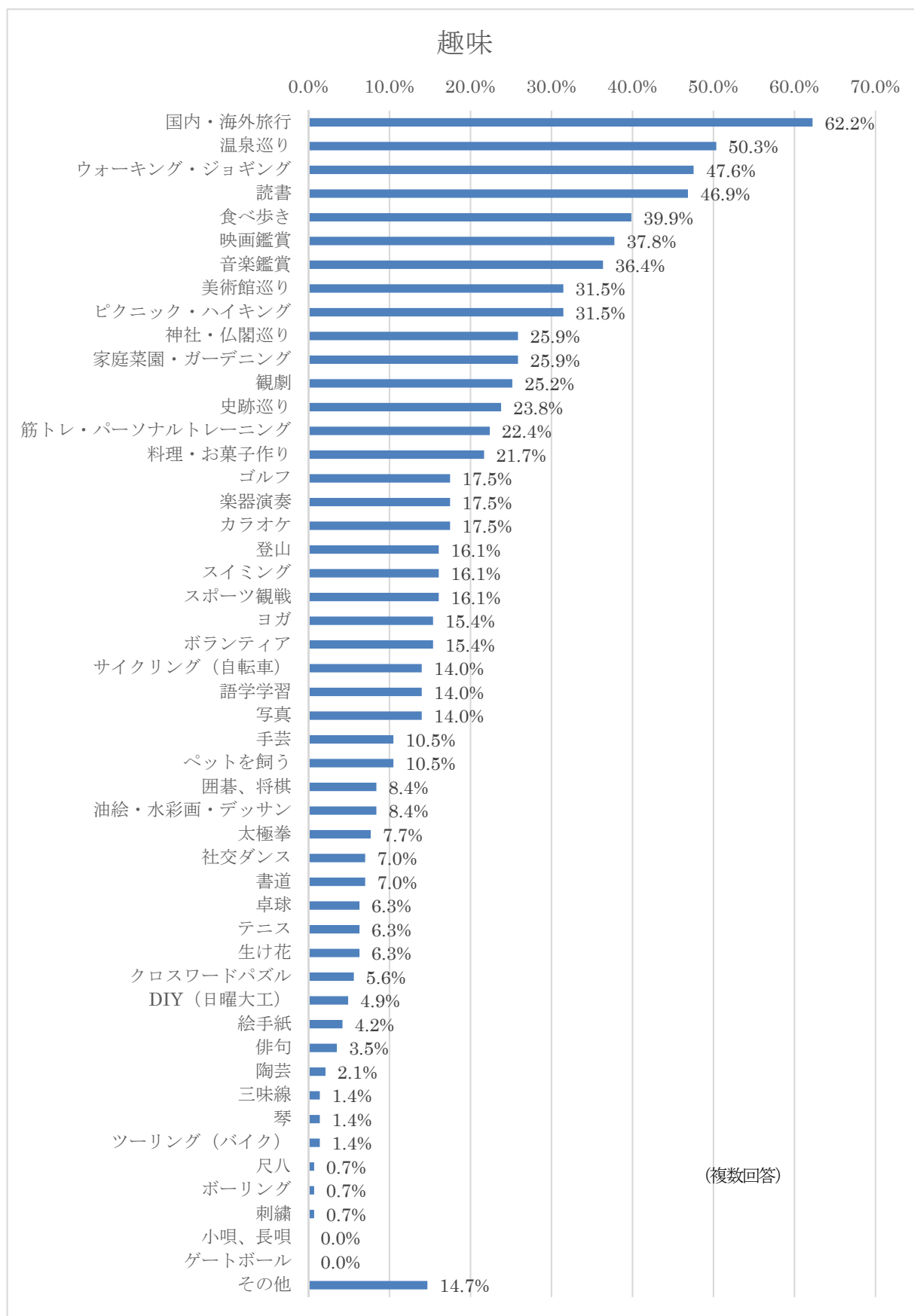
居室の常住性意向については、「常時そこに住むつもりである」が77%と割合が一番高かった。

前回調査と比較すると、「常時そこに住むつもりである」が前回 59%であったのに対して、今回は77%と割合が高くなっている。一方、「普通はそこに住み、時々は子どもの所に住む」は前回 22%であったのに対して、今回は6%と割合が低くなっている。



⑨ 趣味

趣味については、複数回答で尋ねた。「国内・海外旅行」が62%と一番割合が高かった。次いで、「温泉巡り」が50%という結果になった。読書を除き、外出を伴う趣味の割合が高くなった。



Ⅲ. 高齢者意識調査 調査項目

* 必須の質問

(1) あなたが、今、住んでいるところは、どのような場所ですか。*

- イ) 大都市
- ロ) 中小都市
- ハ) 農山漁村

(2) あなたが、今、住んでいるのは、どの地域ですか。*

- イ) 北海道・東北
- ロ) 関東
- ハ) 中部・北陸
- ニ) 近畿
- ホ) 中国・四国
- ヘ) 九州・沖縄

(3) 年齢は、おいくつですか。*

- イ) ~59歳
- ロ) 60~64歳
- ハ) 65~69歳
- ニ) 70~74歳
- ホ) 75歳以上

(4) 性別をお教えてください。*

- イ) 男
- ロ) 女

(5) 配偶者がおられますか。*

- イ) 配偶者あり
- ロ) 配偶者なし

(6) お子さんの数をお教えてください。*

- イ) なし
- ロ) 1人
- ハ) 2人
- ニ) 3人
- ホ) 4人以上

(7) 現在、あなたと同居している家族の人数は何人ですか。*

- イ) 1人住い
- ロ) 2人住い
- ハ) 3人住い
- ニ) 4人住い
- ホ) 5人以上

(8) 現在、あなたは何か職業についておりますか。*

- イ) 職についている
- ロ) 職についていない

(9) 現在、あなた(あなた方ご夫婦)は、経済的に独立していますか。*

- イ) 独立している
- ロ) だれか他の者に頼っている
- ハ) どちらとも言えぬ

(10) 現在、お住いの住宅の種類はなんですか。*

- イ) 一戸建持家
- ロ) 一戸建借家
- ハ) 公営・公団分譲アパート
- ニ) 公営・公団賃貸アパート
- ホ) 分譲マンション
- ヘ) 民間アパート
- ト) 借間
- チ) 社宅
- リ) その他

(11) 住宅の広さは、どのくらいですか。*

- イ) ~10坪
- ロ) 10~20坪
- ハ) 20~30坪
- ニ) 30坪以上

(12) あなたの健康状態をお教えてください。*

- イ) 極めて健康
- ロ) まあまあ健康
- ハ) 時々病気がち
- ニ) 病気をしている
- ホ) 寝たきりの状態

(13) あなたは、よく近所づきあいをなさいますか。*

- イ) 隣近所はもちろん、それ以外の人々とも通常親しくつきあっている
- ロ) 隣近所の人たちとは、親しくつきあう
- ハ) あいさつを交わす程度
- ニ) ほとんどつきあわない

(14) あなた(あなた方ご夫婦)は、老後の生活の安定のために何らかの経済的準備をしていますか。*

- イ) 大いにやっている
- ロ) 多少はやっている
- ハ) そんな余裕はない
- ニ) 考えたこともない

(15) あなたは、先行きの家計状態に不安をお持ちですか。*

- イ) 全く不安はない
- ロ) まあ何とかかなと思う
- ハ) 多少不安である
- ニ) 大いに不安である
- ホ) 何とも言えない

(16) 経済的な面で子供に面倒を見てもらうことについて、どうお考えですか。(お子さんのある方だけお答えください)

- イ) 当然めんどろを見てもらいたい
- ロ) 困ったときには、めんどろを見てもらいたい
- ハ) なるべくそのようなことのないように努力したい
- ニ) 一切、子どもには経済的なめんどろをかけない
- ホ) 何とも言えない

(17) 結婚した子どもと一緒に住むことについて、どうお考えですか。(お子さんがある方だけお答えください)

- イ) できる限り一緒に住みたい
- ロ) 一概に言えない
- ハ) 一緒に住みたいとは思わない

(18) 自分自身が老後、寝たきり状態になった時、看護方法はどのようにしてほしいですか。*

- イ) どうしても家族のものに見てもらいたい
- ロ) やむを得ず 家族のものに見てもらう
- ハ) 経済的に許す限り、ヘルパーを頼んで自宅で看護してもらう
- ニ) 病院その他の公的医療機関にあずけてもらってよい
- ホ) 何とも言えない

(19) 現在、人間関係のうえで、淋しさを感じますか。*

- イ) いつもとても淋しい
- ロ) 時々淋しい時がある
- ハ) 何とも言えない
- ニ) 淋しさは感じない

(20) 日常生活のうえで、退屈を感じますか。*

- イ) いつもとても退屈である
- ロ) 時々退屈である
- ハ) 何とも言えない
- ニ) めったに退屈しない
- ホ) 退屈どころでない

(21) 健康上のことで、将来に不安を感じますか。*

- イ) それほど不安はない
- ロ) 多少不安である
- ハ) 大いに不安である
- ニ) 何とも言えない

(22) 入居時自立型の有料老人ホームに興味がありますか。*

- イ) 大いにある
- ロ) ある
- ハ) どちらとも言えない
- 二) ない

(23) 有料老人ホームの入居金 1人約3,500万円、2人約5,000万円についてどのような感想をお持ちですか。

・(参考資料4をご検討のうえお答えください) *

- イ) 高すぎて自分には無理である
- ロ) 高いと思うが、このくらいなら何とかかなと思う
- ハ) 内容を考えると、それほど高いとは思わない
- 二) 安いと思う
- ホ) 何とも言えない

(24) 土地、住宅等のあなたの所有財産を、何らかの方法で処分されて有料老人ホームに入居することについてどうお考えですか。*

- イ) そういうことは大いに考えている
- ロ) 必要であれば、そうしてもよいと思う
- ハ) 何とも言えない
- 二) そういうことは全く考えない

(25) 入居金の分割払いについてどうお考えですか。*

- イ) どうしても分割払いがよい
- ロ) 可能ならば、分割払いが望ましい
- ハ) 一括払いの方が将来の不安が少ないと思う
- 二) どちらとも言えない

(26) あなたの知人に有料老人ホームへの入居を検討する可能性があると思われる人がいますか。*

- イ) 何人かいる
- ロ) いる
- ハ) 何とも言えない
- 二) 心当たりがない

(27) もし、あなたが有料老人ホームに入居するとしたら、施設の場所はどこを希望されますか。

* (○は、いくつでも)

- 1) 北海道 2) 青森県 3) 岩手県 4) 宮城県 5) 秋田県 6) 山形県 7) 福島県 8) 茨城県
- 9) 栃木県 10) 群馬県 11) 埼玉県 12) 千葉県 13) 東京都 14) 神奈川県 15) 山梨県
- 16) 長野県 17) 新潟県 18) 富山県 19) 石川県 20) 福井県 21) 岐阜県 22) 静岡県
- 23) 愛知県 24) 三重県 25) 滋賀県 26) 京都府 27) 大阪府 28) 兵庫県 29) 奈良県
- 30) 和歌山県 31) 鳥取県 32) 島根県 33) 岡山県 34) 広島県 35) 山口県
- 36) 徳島県 37) 香川県 38) 愛媛県 39) 高知県 40) 福岡県 41) 佐賀県 42) 長崎県
- 43) 熊本県 44) 大分県 45) 宮崎県 46) 鹿児島県 47) 沖縄県 48) どこでもよい

(28) もし、あなたが有料老人ホームに入居するとしたら、どのような種類の施設を希望されますか。*

- イ) 都市型
- ロ) 近郊型
- ハ) 地域型
- 二) 景勝型
- ホ) 何とも言えない

(29) 和室についてどう思われますか。*

- イ) やはり寝室は、全て和室がよい
- ロ) 最低1部屋は洋室がほしい
- ハ) 全て洋室がよい
- 二) 何とも言えない

(30) もし、有料老人ホームに契約するとしたら、その居室をどのように使いたいと思いますか。*

- イ) 常時そこに住むつもりである
- ロ) 普通は、そこに住み、時々は子どもの所に住む
- ハ) 普通は、他の所に住み、時々はそこに住む
- 二) しばらくそこには、住まぬが、将来もしもの時のために使う
- ホ) 何とも言えない

(31) 最後に、あなたのご趣味をお伺いします。(いくつでも結構です)*

- 1) 手芸 2) 観劇 3) ゴルフ 4) 囲碁、将棋 5) 読書 6) 小唄、長唄 7) 三味線 8) 琴
- 9) 尺八 10) 陶芸 11) 国内・海外旅行 12) 温泉巡り 13) 神社・仏閣巡り 14) 史跡巡り
- 15) 美術館巡り 16) ピクニック・ハイキング 17) 食べ歩き 18) 登山
- 19) ウォーキング・ジョギング 20) 社交ダンス 21) サイクリング(自転車)
- 22) ツーリング(バイク) 23) スイミング 24) ボーリング 25) 卓球 26) テニス
- 27) ゲートボール 28) ヨガ 29) 太極拳 30) 筋トレ・パーソナルトレーニング
- 31) 映画鑑賞 32) 音楽鑑賞 33) スポーツ観戦 34) 楽器演奏 35) カラオケ
- 36) 家庭菜園・ガーデニング 37) 料理・お菓子作り 38) 俳句 39) 書道
- 40) クロスワードパズル 41) 語学学習 42) 写真 43) ペットを飼う
- 44) 油絵・水彩画・デッサン 45) 絵手紙 46) 生け花 47) DIY(日曜大工) 48) 刺繍
- 49) ボランティア 50) その他

以上